

## 令和2年度事業計画

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

令和2年の年明けと共に新型コロナウイルス感染症が中国で流行して、その後、グローバルサプライチェーンの恩恵を受ける国々に瞬く間に伝染してしまい、ほぼ同時進行でパンデミックとなった。

本来であれば、7月－8月の東京オリンピック・パラリンピックに伴う需要増と、その後の景気後退を阻止すべく計画されていた様々な政府の対策により、底堅い景気の維持が見込まれていた。しかし、今回のコロナショックにより、世界の主要国同様に、日本においても、アフターコロナにおける回復模索の年度となることが確実となった。

本年度は、そうした状況を踏まえ、パラダイムシフトの兆候を注視しつつ、会員各社が最適なパレット（サービス）を産業界に提供できるように、これまで通り「協会のあるべき姿」を会員企業、関係協会・団体、関係官庁との連携等により常に見据えて、着実に歩みを進めたい。

そして、次の事項を活動の主眼とする。

### ＜本年度活動の主眼＞

物流界の労働力不足解消に向けた物流生産性革命等に対応するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

災害に強い物流システム構築に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

労働安全衛生に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

グローバルサプライチェーンの再構築等に備えたパレット及び関連物流機器・容器の利用促進と製造に関する啓発（一層の品質管理等）

サプライチェーンに内在する様々な社会の課題を解決するツール（電子タグ等）の実用化に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

パレット及び関連物流機器・容器に関する調査、情報の収集、提供

パレット及び関連物流機器・容器に関する品質表示策（JPAマーク認証制度等）推進

パレット及び関連物流機器・容器の製造販売業・レンタル業に携わる人材育成

パレット及び関連物流機器・容器に関する内外関係機関との交流及び協力

パレット分野に関する規格・基準の作成及び確認

新規会員勧誘活動及びIT等の活用による地方会員の協会活動への参加促進

その他、協会目的を達成するために必要な事業（講演会・セミナー等）の随時実施

そして、主眼に基づき次の通り計画（1. 国内活動 2. 国際活動）を策定し予算を計上する。

## <事業計画>

### 1. 国内活動

- 1) 部会活動と協会ホームページを活用した情報共有と意見交換により、環境変化（IoT、AI 等の技術革新や現在のパンデミックに関連する様々な変化）への備えに万全を期する
- 2) アジアのパレットの日懇親会の実施、展示会の共催や協賛、出版物の販売労働安全衛生を考慮したパレットに関する活動支援等の幅広い活動によりパレットならびに業界全体の PR を図る
- 3) 協会ホームページのバナー広告活用や WEB 検索の対策等により、各社の PR を展開し、会員事業への寄与を継続する
- 4) 災害時のパレット及び関連物流機器・容器の有効活用を支援するため、危機管理体制を維持する
- 5) 物流人材の育成やパレットの有効な利活用に寄与すべく、教育研修事業の充実に向け準備を進める
- 6) JPA マーク認定制度を充実させ、品質や安心安全の PR の新たな体制構築を目指すと共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 7) 通常総会（令和2年）と新年賀詞交歓会（令和3年）を開催する
- 8) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）の勧誘活動の強化

### 2. 国際活動

- 1) APSF アジアパレットシステム連盟 2020 総会主催（9月 開催地調整中）
- 2) アジアのパレットリターナブル化に向けた計画作成委員会
- 3) 国際パレット会議（11月 中国）
- 4) その他、当会の活動に関連する国際活動を適宜実施

以上